

## 安定的な食料生産確保を求める意見書

日本の食料自給率は、いまだ38%と先進国の中でも低い状況下であり、食料自給率の向上に向けての対策は喫緊の課題であります。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界的に停滞していた経済活動が回復期に入ったことから、原油の需要が拡大するなどの影響による物価高騰が続いております。

そのため、農業生産に欠かすことのできない機械や農業用ハウスに使用する燃料をはじめ、各種生産資材（燃料・肥料・飼料）や農業用施設の価格高騰が続いています。

一方で、コロナ禍を要因とする需要減退から、農産物価格が低迷しており、生産資材等の価格高騰は、生産者の農業経営をさらに圧迫しております。

よって、国におかれましては、食料の安定供給と農業の持続的発展を図るための効果的な対策を講ずるよう、下記の事項について強く要望いたします。

### 記

- 1 燃料や生産資材等の価格高騰に対応すべく、農家負担の軽減を図るための対策を講ずること。
- 2 地域特性を生かした持続可能な農業政策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年9月28日

北海道江別市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣